

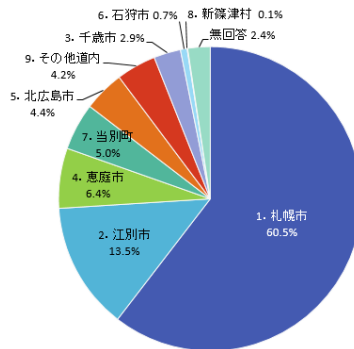
【調査の概要】

- **アンケート対象者**：石狩管内の大学に通う大学3年生
(12大学 1677人から回答)
- **アンケート実施期間**：平成27年10月1日～11月11日

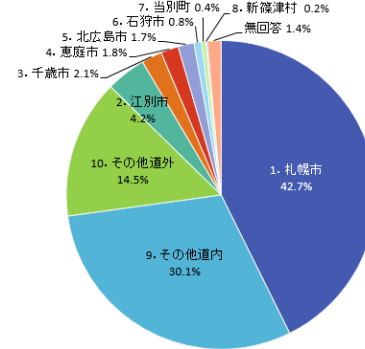
【調査対象となった学生の傾向等】

- **男女割合、文系理系割合**：ほぼ同一の5割。
- **現在の居住地**：札幌市6割、江別市1割。
- **1人暮らし**：741名
- **1人暮らしをしている学生が住居選択で重視していること**：
「交通の利便性」「家賃の安さ(3～5万円が相場)」が上位。
- **現在の居住地の安全度**：5割が「ある程度安全」、2割が「安全」。
- **高校卒業時の居住地**：札幌市4割、道内3割、道外1.5割。
- **通っている大学の所在地**：札幌市4割、江別市、当別町各2割。
- **お祭りなど地域行事への参加傾向**：7割が全く参加していない。
- **アルバイト**：約8割の学生が経験。その目的は「小遣い稼ぎ」「生活費を稼ぐため」が上位。
- **ボランティア**：3割の学生が経験。その目的は「社会勉強」「大学生活の充実」が上位。
- **普段の相談相手**：友人、母親が上位。父親は3割程度。
- **大学生活満足度**：約7割の学生が大学生活に満足。
- **地域への愛着度**：住んでいる地域の愛着度の高さに比べ、大学のある地域への愛着は低い。
- **利用情報ツール**：LINEやツイッターの利用率は特に高い。
- **生きていくうえで重視すること**：「家族と幸せに暮らすこと」「自分の趣味やレジャーを楽しむこと」が上位。
- **結婚願望**：7割が「結婚したい」と回答。「わからない」は2割。
- **希望子ども人数**：7割が「2人以上」と回答。
- **2040年頃の理想とする社会**：「医療の進歩」「大規模災害への備え万全」「人口減少に歯止め」「高速交通ネットワーク」が上位。

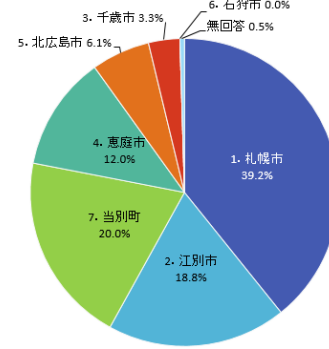
●現在の居住地



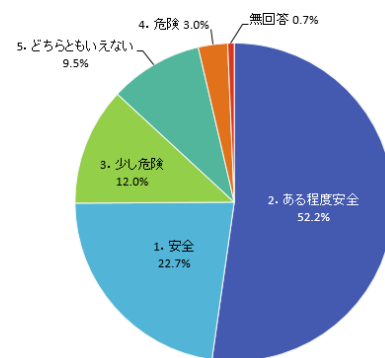
●高校卒業時の居住地



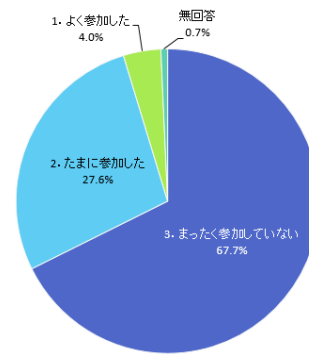
●通っている大学の所在地



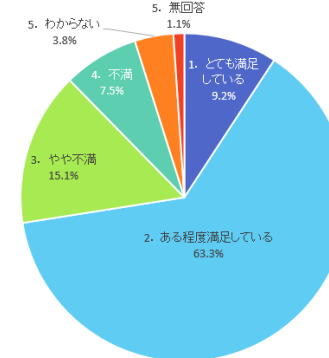
●現在の居住地の安全度



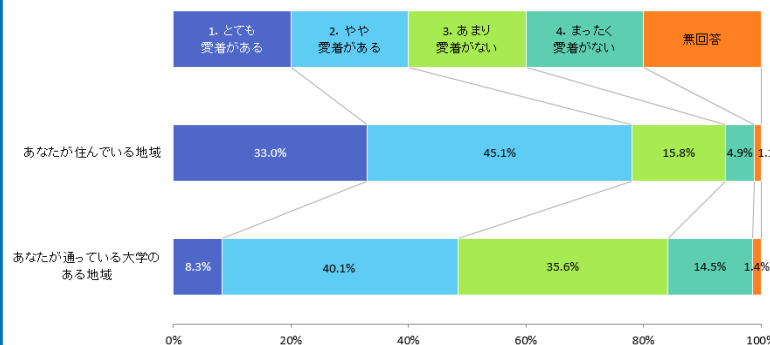
●大学所在地の地域行事への参加



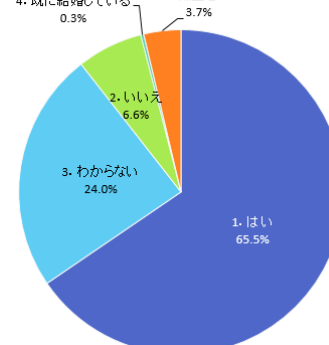
●大学生生活の満足度



●地域への愛着度



●将来の結婚願望の有無



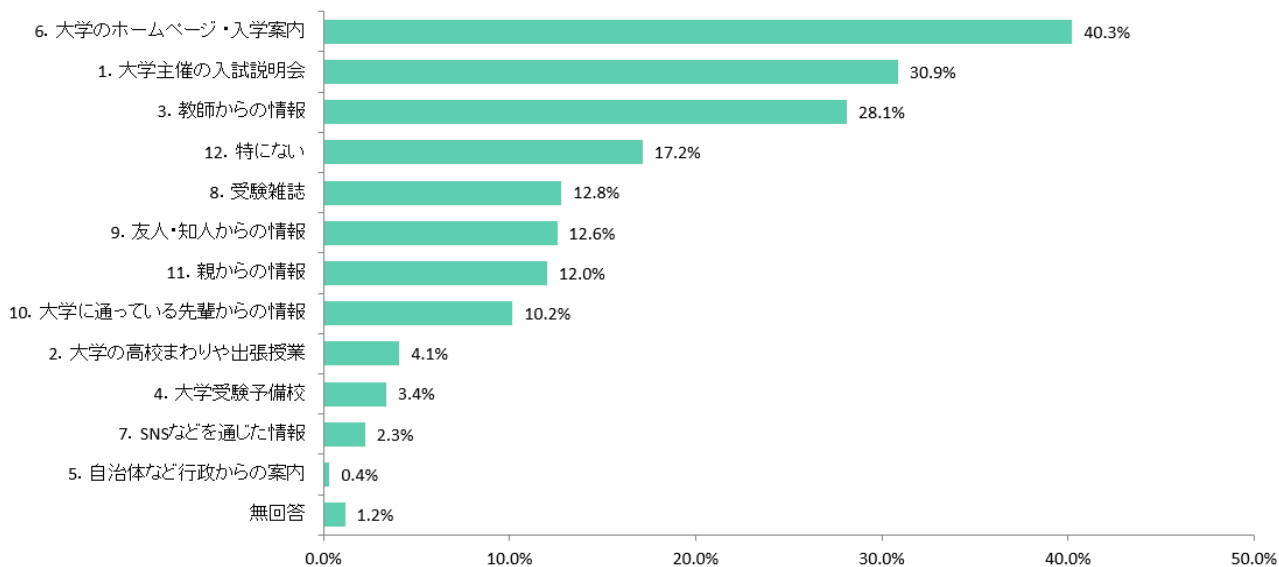
【大学の選考理由等】

●**大学選考時に重視した情報**：「大学ホームページ・入学案内」、「大学主催の入試説明会」、「教師からの情報」など大学側からの発信情報を参考とする傾向がある。

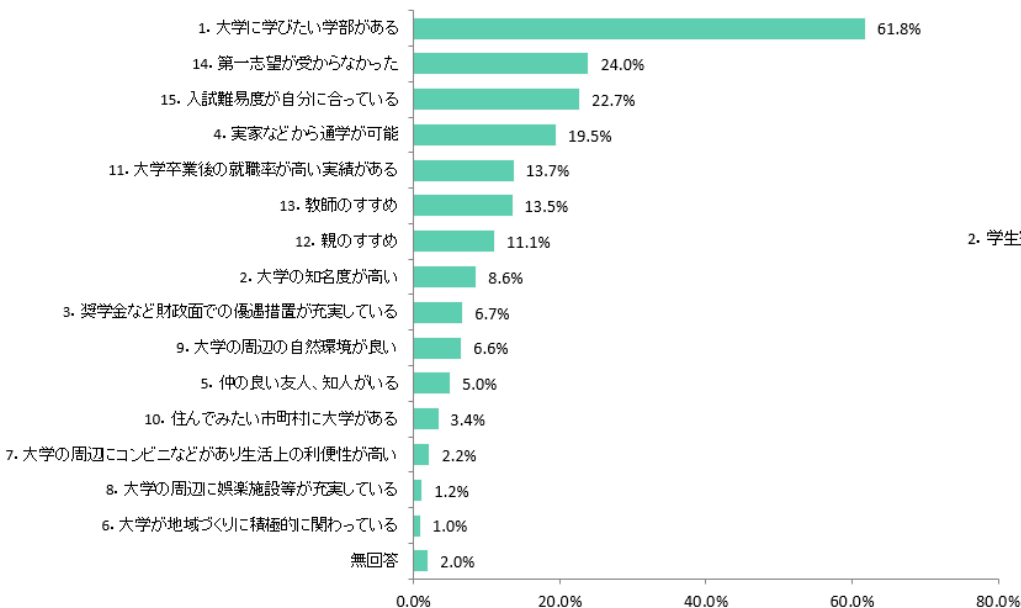
●**大学選考の理由**：「学びたい学部がある」が突出し、次いで「入試難易度の関係」、「自宅から通学可能」等の理由が上位。大学の所在地への興味による選考を行なっている学生は少ない。

●**学生が大学で取り組んで欲しいと考えていること**：奨学金制度の拡充、一人暮らし学生向けの支援等の経済的支援と、「在学中の職業体験」などの就業に向けた支援、他大学への講義参加などを望む傾向。一方、「地域活動への参加機会の提供等」への希望は少なかった。

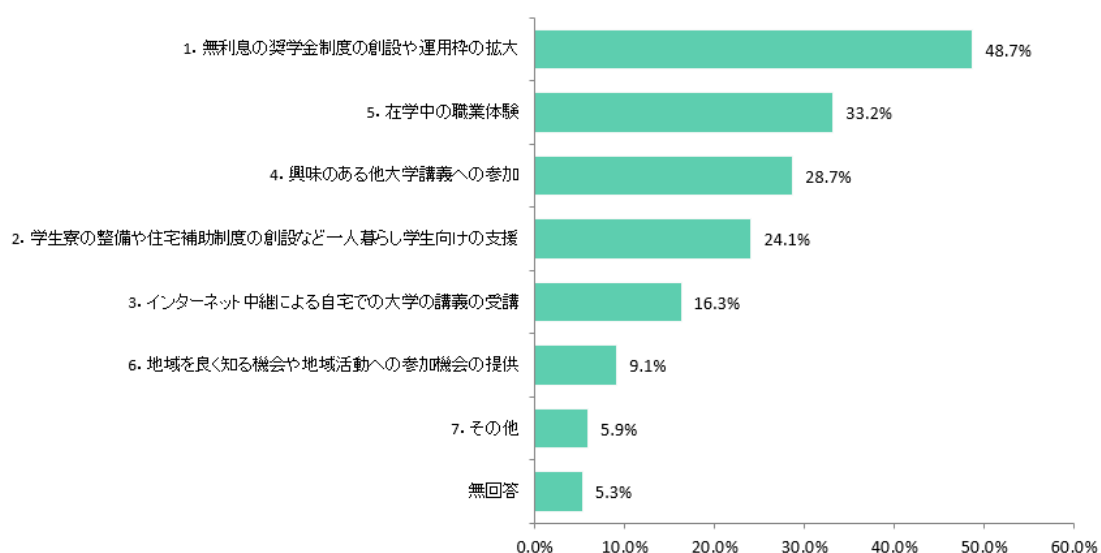
●大学選考時に重視した情報（複数選択可）



●大学選考の理由（複数選択可）



●大学で取り組むべきと思うもの（複数選択可）

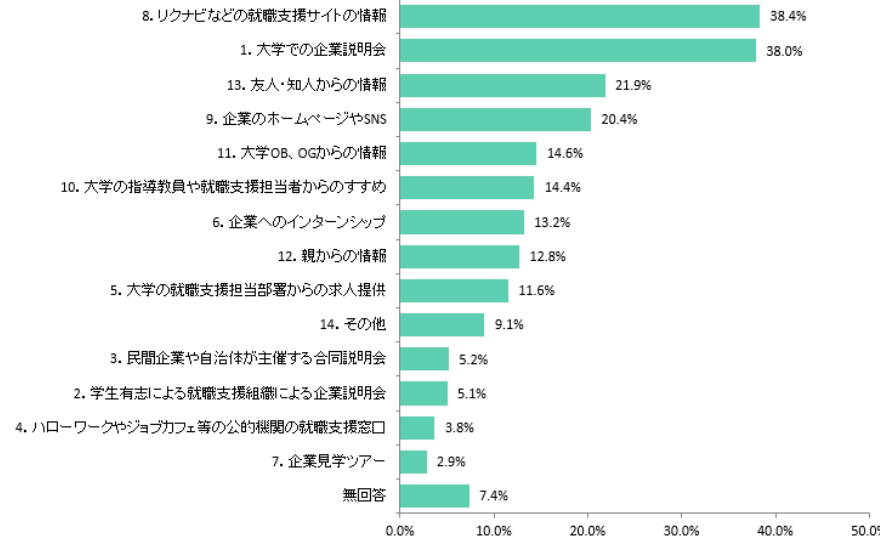


若者の将来展望等に関するアンケート調査結果〔概要〕 ～ 将来の就業希望先等① ～

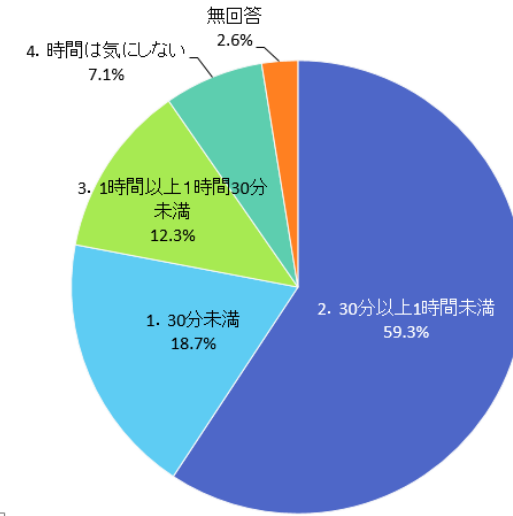
【将来の就業希望先等】

- **将来の就業希望地域**：「札幌市」が最も多く7割弱が選択。「東京圏」、「特にこだわりのない」もそれぞれ約2割。
- **主に活用している就業情報**：「就職支援サイト」や「大学での企業説明会」が多く、ショブカフェ等の公的機関を利用する学生は少ない。
- **将来就業希望職種**：「医療・福祉」が3割強と最も多いが、今回の調査において医療系大学の学生のアンケート回答率が高かったことが影響しているものと推察。次いで「公務」「情報通信業」が多い。「まだ決めていない」との回答も約2割。
- **通勤時間の許容範囲**：「30分～1時間未満」が6割弱。

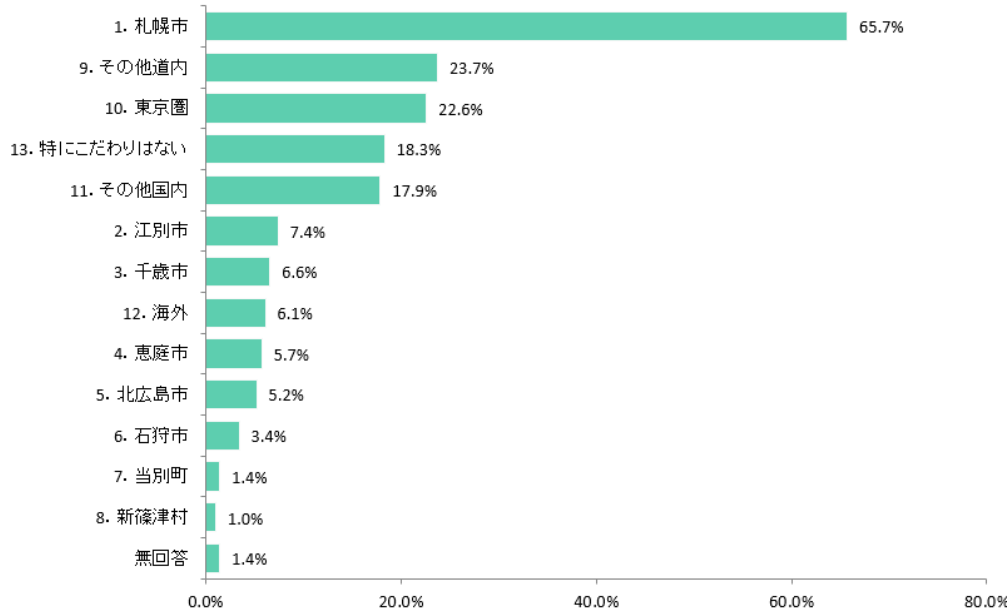
●主に活用している就業情報（複数選択可）



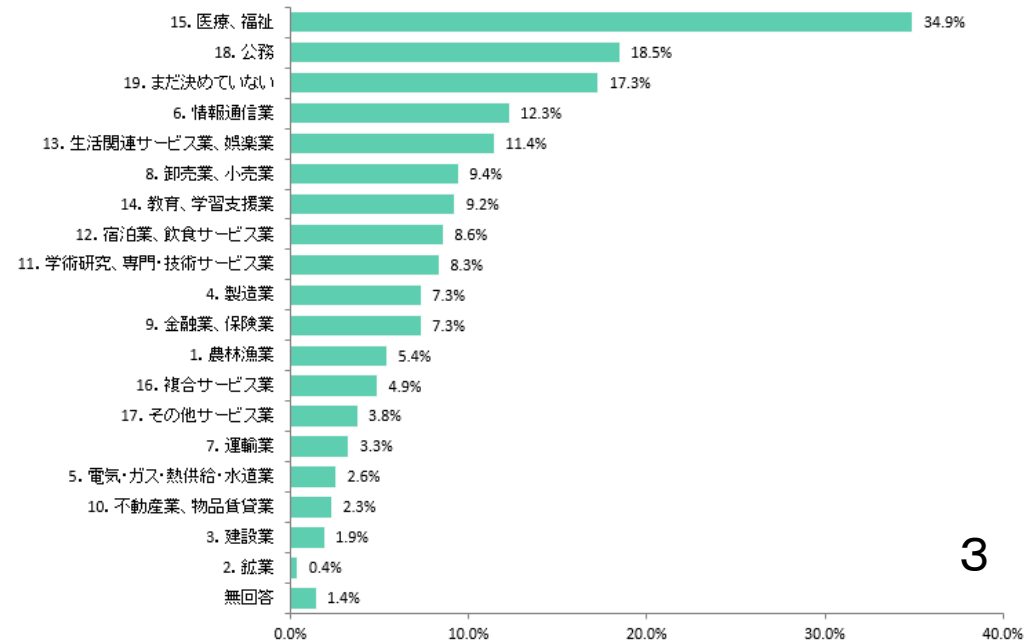
●通勤時間の許容範囲



●将来の就業希望地域（複数選択可）



●将来の就業希望職種（選択は3つまで）

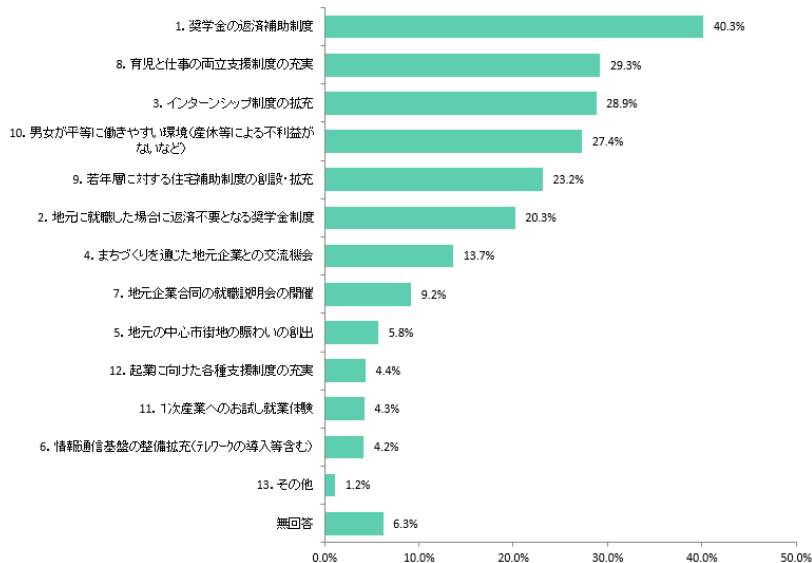


若者の将来展望等に関するアンケート調査結果〔概要〕 ～ 将来の就業希望先等② ～

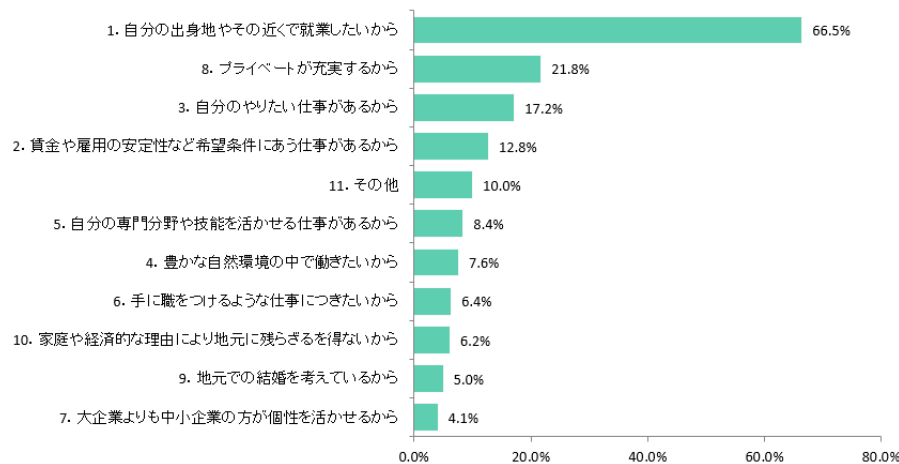
【将来の就業希望先等】

- 札幌圏での就業を検討する場合に「あったら良い」と思う取組：「奨学金の返済補助制度」が最も多く約4割の学生が選択。「両立支援」「インターシップ 拡充」が3割。
- 将来、大学の所在地若しくは現居住地近隣での就業を希望する理由／希望しない理由：共に「自分の出身地やその近くで就業したいから」がトップ。
- 就業先地域安全度の重視度合：7割弱の学生が「非常に重視する」「やや重視する」と回答。
- 札幌圏での就業に必要な情報の提供満足度：「札幌圏での就業に必要な情報が十分に提供されていない」と感じている学生が約3割。

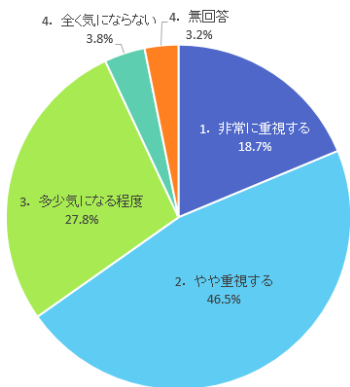
●札幌圏で就業を検討する場合に「あったら良い」と思う取組 (選択は3つまで)



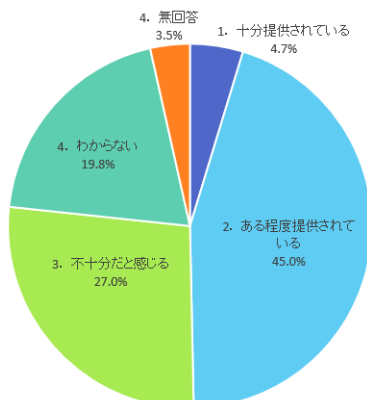
●将来、大学所在地若しくは住まい近隣での就業を希望する理由 (選択は3つまで)



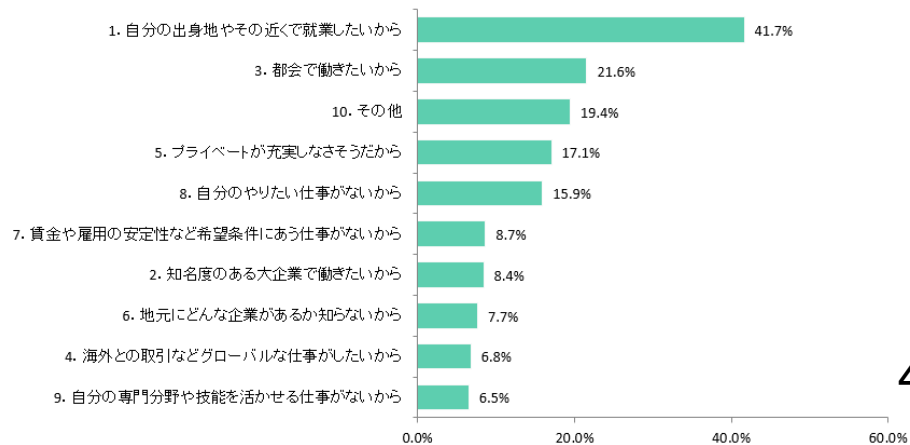
●就業先地域安全度の重視度合



●札幌圏での就業に必要な情報の提供満足度



●将来、大学所在地若しくは住まい近隣での就業を希望しない理由 (選択は3つまで)

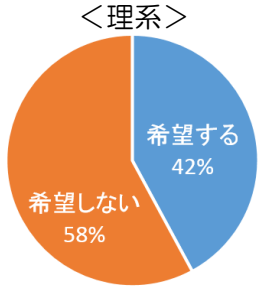
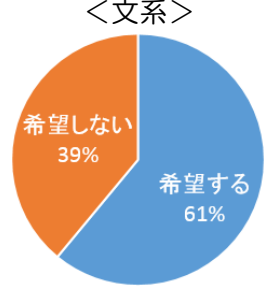
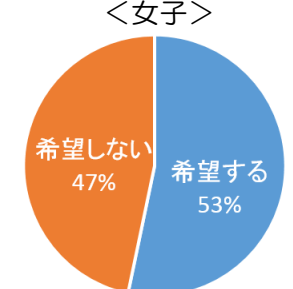
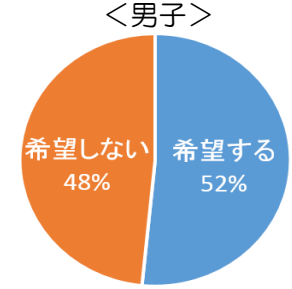
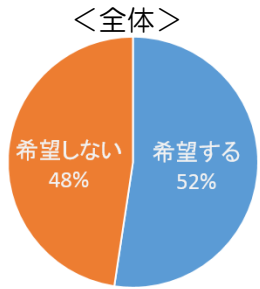


若者の将来展望等に関するアンケート調査結果〔概要〕 ～ 就業希望地の傾向① ～

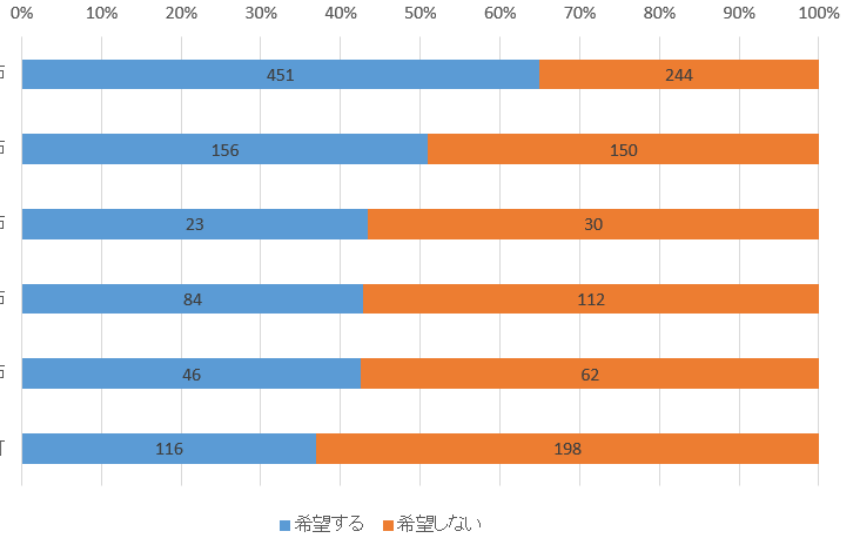
【就業希望地の傾向等】

- **卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を希望する割合**：全体では半々。男女別に比べてもその傾向に変化はないが、文系の学生は近隣を希望する割合が高く、反対に理系の学生は近隣を希望する割合が低い。
- **大学の所在地別の傾向**：札幌の大学に通う学生は近隣での就業を希望する割合が高い傾向。
- **出身地別の就業希望地**：札幌市出身者（高校卒業時の居住地で判断）の8割が札幌市を就業候補地に。札幌圏（札幌市を除く）出身者の4割超が札幌圏（札幌市を除く）を就業候補地としている。また道外出身者の35%が札幌市を就業候補地とし、26%が勤務地にこだわりはないと回答している。

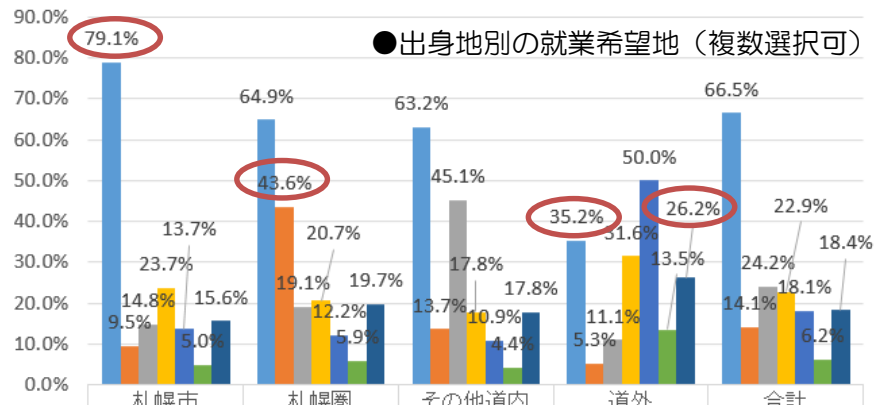
● 卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を希望するか



＜大学の所在地別＞



● 出身地別の就業希望地（複数選択可）



就業希望地域	高校卒業時の居住地				
	札幌市	札幌圏	その他道内	道外	合計
1 札幌市	79.1%	64.9%	63.2%	35.2%	66.5%
2～8 札幌圏(札幌市を除く)	9.5%	43.6%	13.7%	5.3%	14.1%
9 その他道内	14.8%	19.1%	45.1%	11.1%	24.2%
10 東京圏	23.7%	20.7%	17.8%	31.6%	22.9%
11 その他国内	13.7%	12.2%	10.9%	50.0%	18.1%
12 海外	5.0%	5.9%	4.4%	13.5%	6.2%
13 特にこだわりはない	15.6%	19.7%	17.8%	26.2%	18.4%

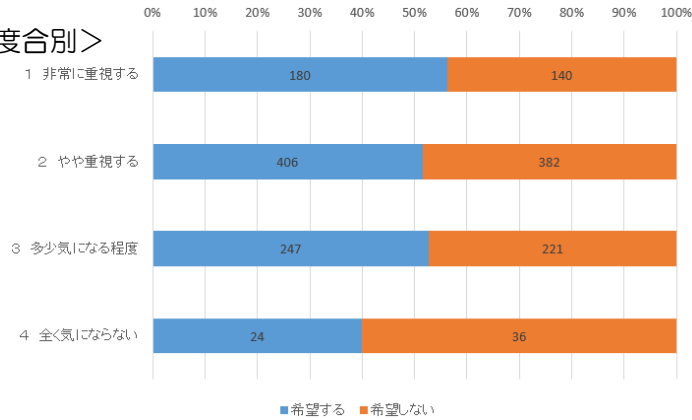
【札幌圏就業を希望する学生の傾向】

以下の傾向・経験のある学生の方が、卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を望む傾向がある。

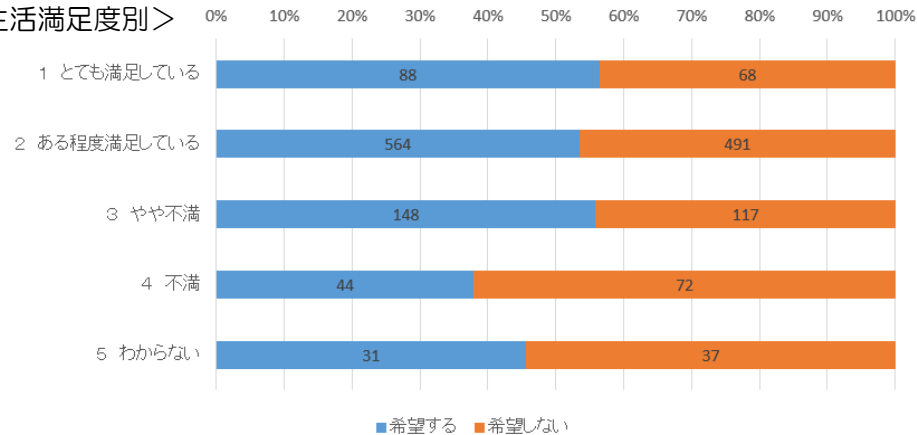
- ・地域行事へ参加している
- ・アルバイト経験がある
- ・ボランティア経験がある
- ・安全度重視である
- ・現在住んでいる地域や通っている大学周辺地域への愛着がある
- ～ほど傾向が強い。

一方、大学生生活に不満がある学生は近隣での就業を望まない傾向にある。

＜就業地域安全度の重視度合別＞

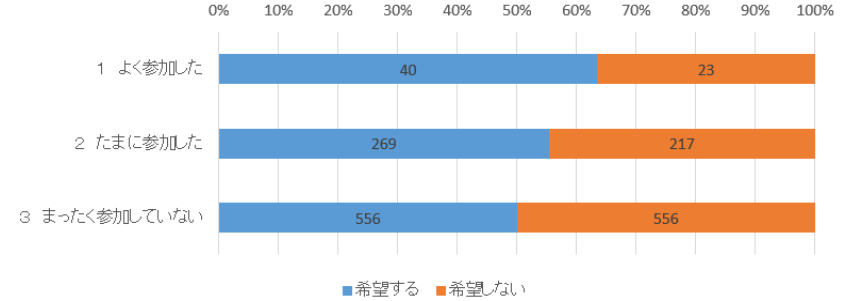


＜大学生生活満足度別＞

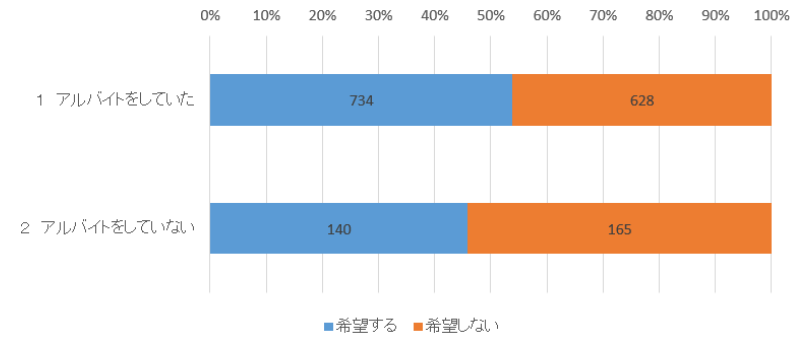


●卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を希望するか

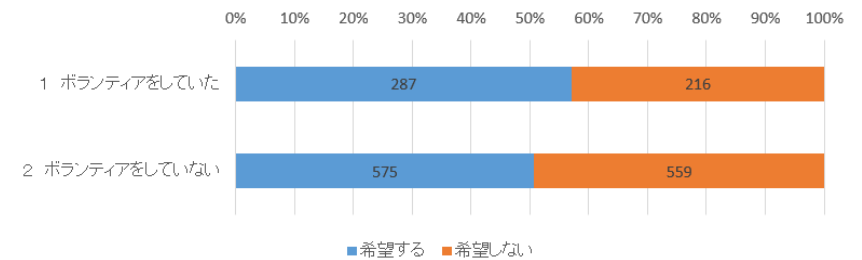
＜地域行事参加傾向別＞



＜アルバイト経験別＞



＜ボランティア経験別＞

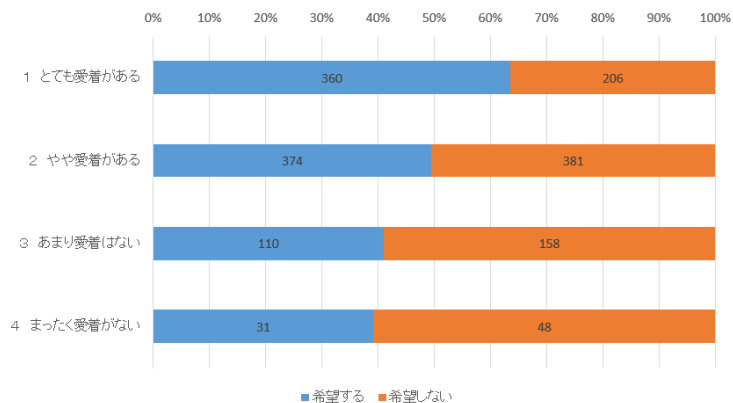


【地元志向の学生の傾向等】

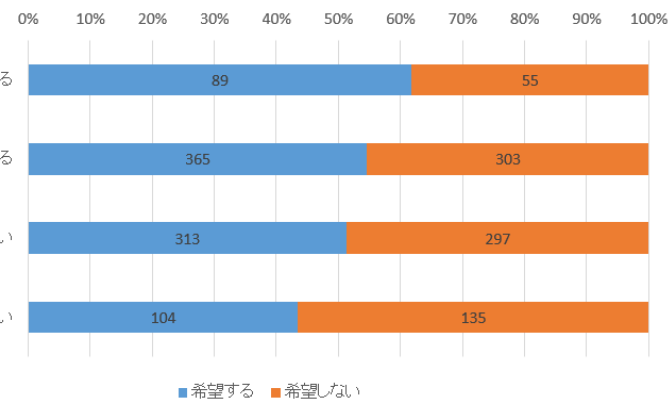
- 卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を希望する理由（居住地域への愛着度別）：愛着が強いほど「自分の出身地やその近くで就業したいから」の割合が高く、愛着が弱いほど「プライベートが充実するから」の割合が高くなる。
- 道外で就業した場合のUターンの可能性：「戻ることはあると思う」「わからない」が共に4割で男女間の相違はみられないが、文系の方が理系より「戻ることはあると思う」の割合が高い。

●卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を希望するか

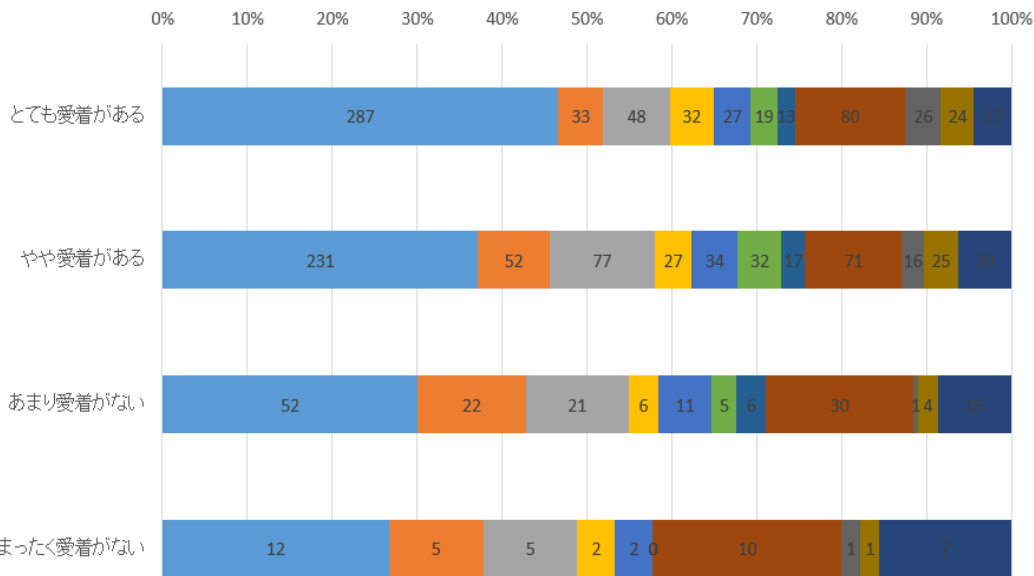
<居住地域への愛着度別>



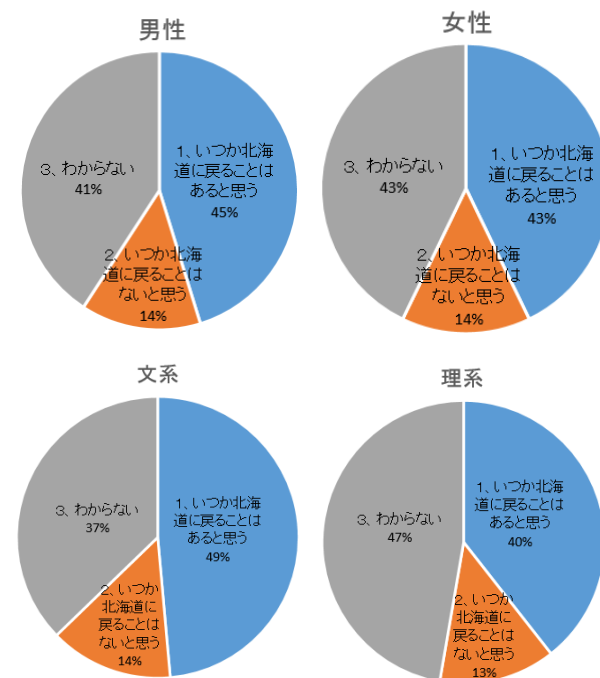
<大学所在地域への愛着度別>



●卒業予定の大学所在地・現居住地近隣での就業を希望する理由（選択は3つまで）<居住地域への愛着度別>



●道外で就業した場合のUターンの可能性

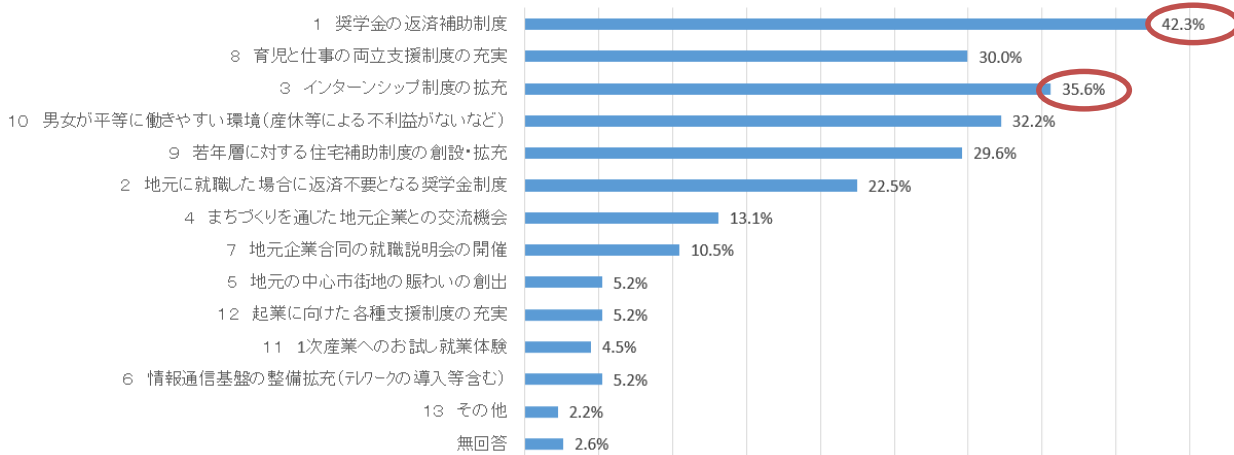


若者の将来展望等に関するアンケート調査結果〔概要〕～札幌圏出身で道外志向の学生～

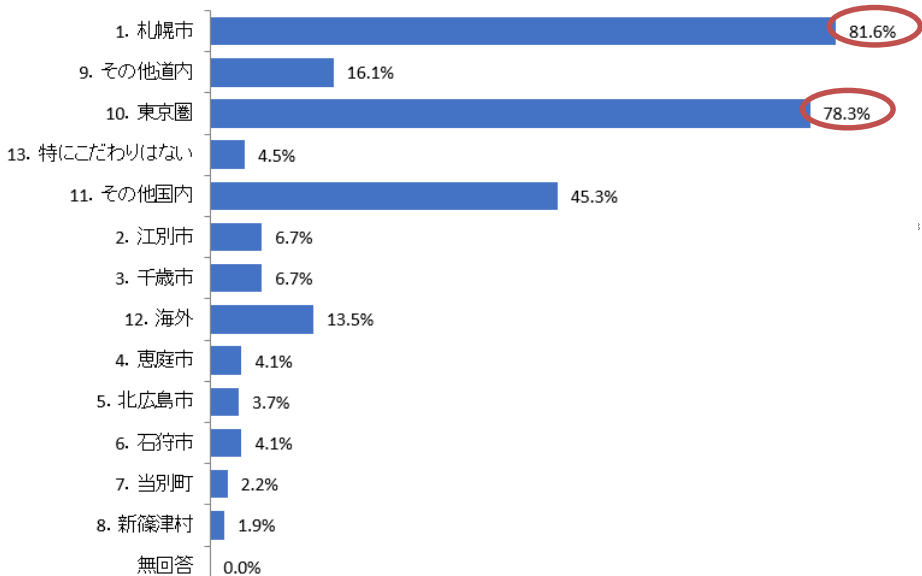
【道外就業も視野にある札幌圏出身大学生の傾向等】

- 将来の就業希望地**：「札幌市」と「東京圏」が約8割と極めて高い。
- 札幌圏で就業を検討する場合に「あったら良い」と思う取組**：「奨学金の返済補助制度」が最も高く4割が選択。「インターンシップ拡充」を望む割合が3.5割と高いのが特徴。
- 高校卒業時の居住地**：「札幌市」が約8割と高い。
- Uターンの可能性**：約6割がUターンの「可能性あり」とし、全体の4.5割と比べ高い。
- 札幌圏での就業に必要な情報の提供満足度**：必要な情報の提供が不十分との割合が約3割と高め。
- アルバイト経験**：約9割と高い。（全体は約8割）
- 大学生生活満足度**：不満・やや不満を合せて約3割と満足度は低い傾向。

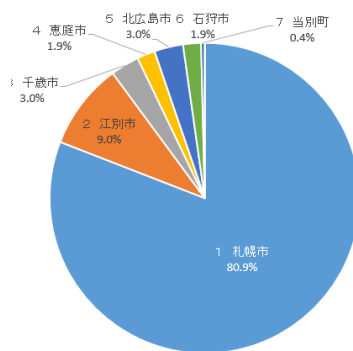
●札幌圏で就業を検討する場合に「あったら良い」と思う取組（選択は3つまで）



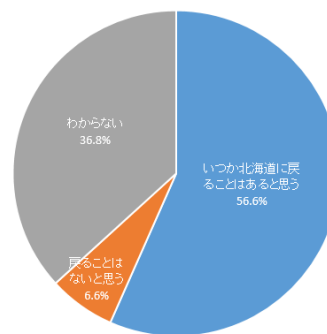
●将来の就業希望地（複数選択可）



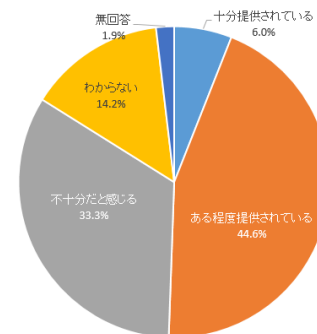
●高校卒業時の居住地



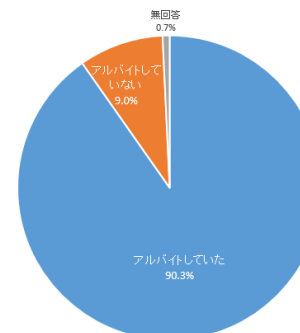
●Uターンの可能性



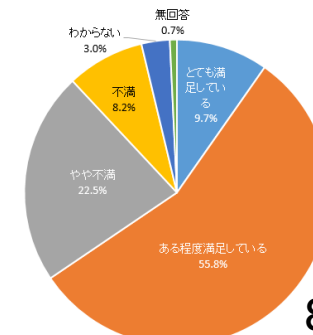
●札幌圏での就業に必要な情報の提供満足度



●アルバイト経験



●大学生生活の満足度

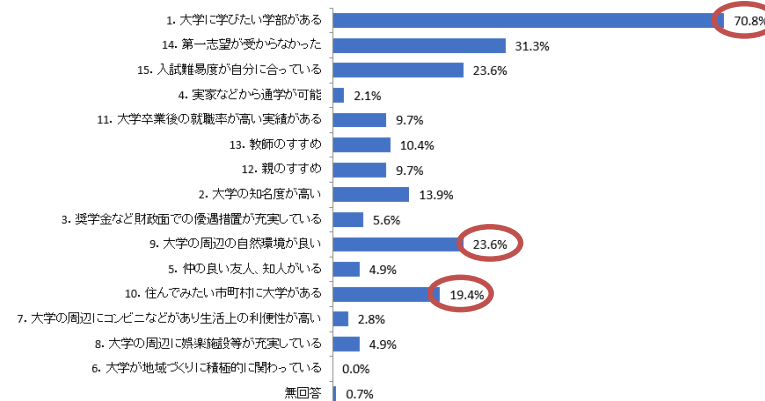


若者の将来展望等に関するアンケート調査結果〔概要〕～道外出身で札幌圏志向の学生～

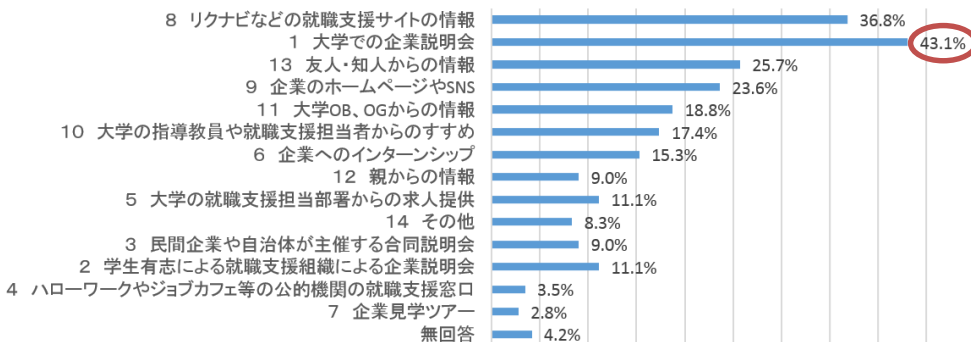
【札幌圏就業も視野にある道外出身大学生の傾向等】

- 大学の選考理由**：7割が「大学に学びたい学部がある」として極めて高い。「大学の周辺の自然環境が良い」「住んでみたい市町村に大学がある」の割合も高いことが特徴。
- 主に活用している就業情報**：「大学での企業説明会」を活用している割合が高い。
- 札幌圏で就業を検討する場合に「あったら良い」と思う取組**：「奨学金の返済補助制度」が最も高く、「インターンシップ拡充」を望む割合が高いのが特徴。
- 地域への愛着度**：居住地だけではなく、大学のある地域に対する愛着を持っている割合が高い。
- 現在の居住地の安全度**：居住地の安全度は高いと考えている割合が高い。
- 大学生生活の満足度**：大学生活への満足度が8割と全体の7割に比べ高い。
- 札幌圏での就業に必要な情報の提供満足度**：必要な情報が提供されているか「わからない」と回答する学生が25%存在。

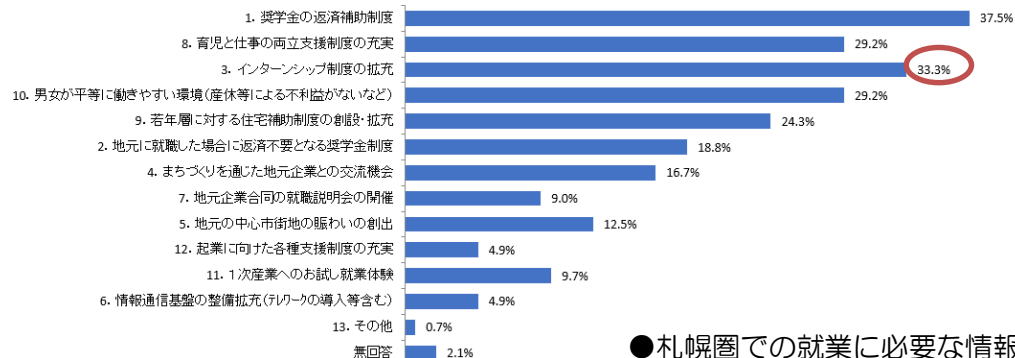
●大学の選考理由（複数選択可）



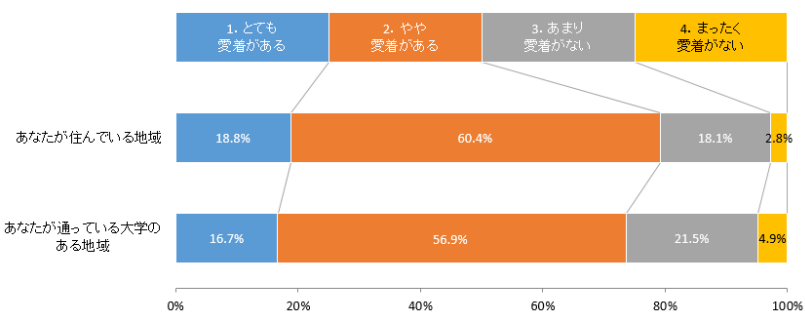
●主に活用している就業情報（複数選択可）



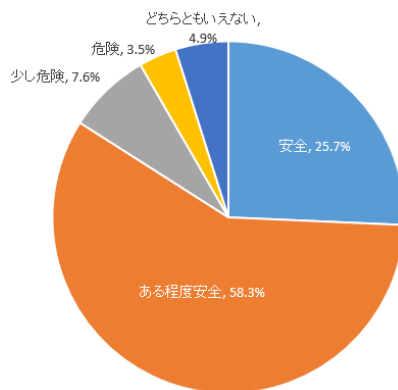
●札幌圏で就業を検討する場合に「あったら良い」と思う取組（選択は3つまで）



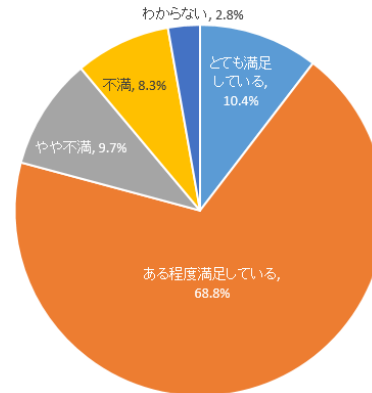
●地域への愛着度



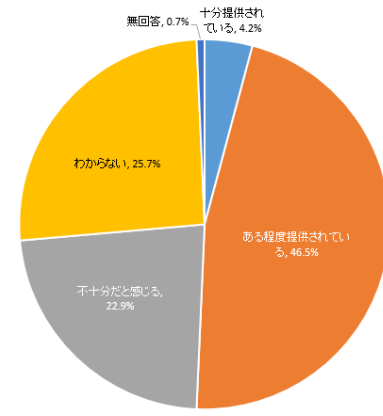
●現在の居住地の安全度



●大学生生活の満足度

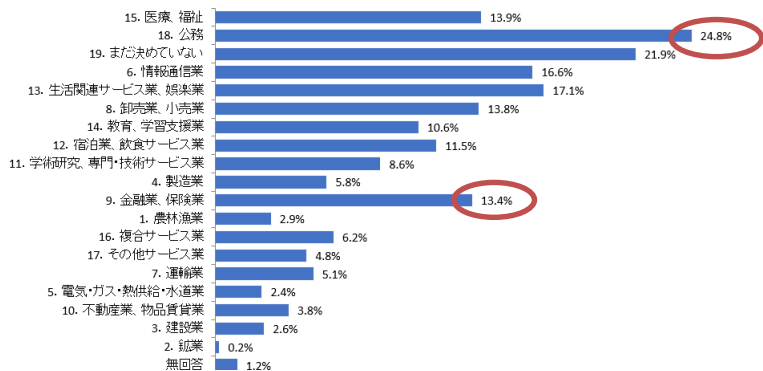


●札幌圏での就業に必要な情報の提供満足度



若者の将来展望等に関するアンケート調査結果〔概要〕～分野別の将来の希望就業職種～

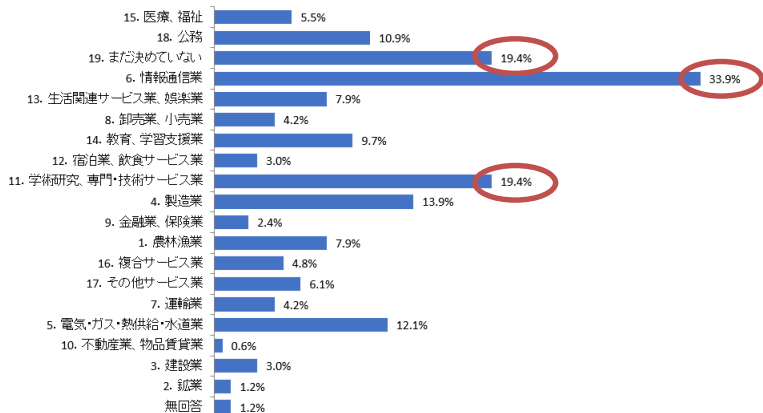
＜文系（選択は3つまで）＞



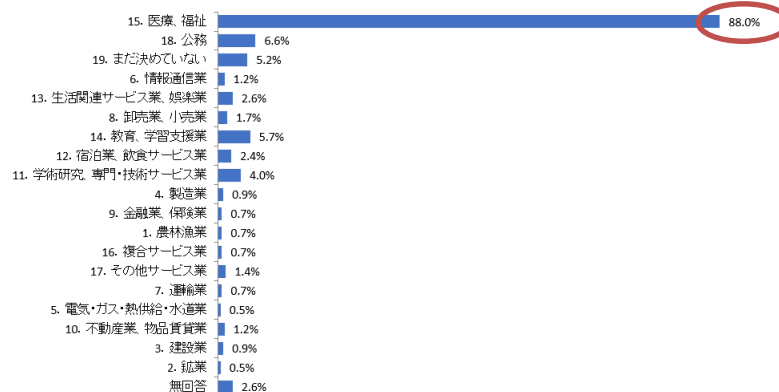
【分野別にみた大学生の将来の就業希望職種】

- 文系**：「公務」の割合が最も高く、「金融業・保険業」の割合が高いのが特徴。
- 理系**：「情報通信業」の割合が最も高く、次いで「まだ決めていない」「学術研究、専門・技術サービス業」となっている。
- 総合系**：「公務」の割合が突出して高い。
- 医療・福祉系**：「医療・福祉」の割合が突出して高い。
- 農業系**：「農林漁業」の割合が最も高く、次いで「製造業」「公務」となっている。

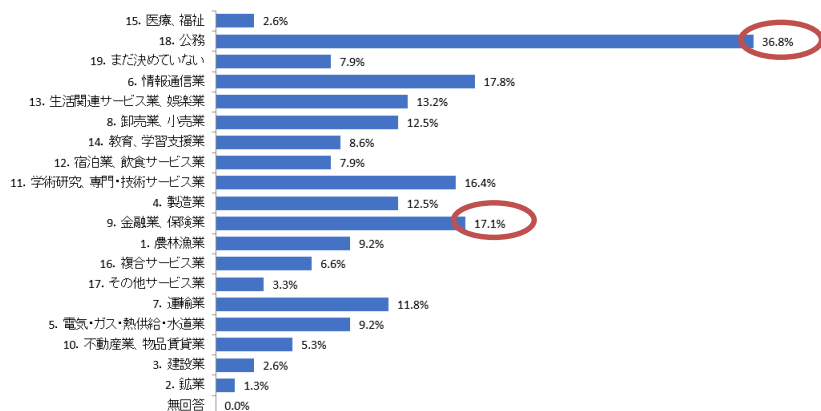
＜理系（選択は3つまで）＞ ※医療・福祉／農業系を除く



＜医療・福祉系（選択は3つまで）＞



＜総合系（選択は3つまで）＞



＜農業系（選択は3つまで）＞

